

諸行動・諸会議名	第90回 運輸の日
開催日・実施日	2017年05月08日(月)
開催場所・実施場所	東神トラックステーション
内容	アンケート調査 35件回収(56配布)
出席者・行動者	今井 勇(ヤマト運輸労働組合厚木支部) 山上 和也(全日通労働組合神奈川支部) 鈴木 隆行(トナミ運輸労働組合東神支部) 森尻 圭一(全日通労働組合神奈川支部) 菊地 陽一(楠原輸送労働組合) 佐藤井左夫(ヤマト運輸労働組合横浜支部)



本日より1週間、大和市・東神トラックステーションにて、『安全運転』の呼びかけとドライバー実態調査アンケートを行います。

初日は、晴天・29度とも言われるだけあって、暑い・初夏の日差しを浴びての行動になりました。

そんな過酷な日でも、ほとんどのドライバーの方が快く応えていただきました。

あるドライバーの方は、労働時間の管理認識は無く、一運行で賃金が決められています。働き方改革なんて政府やいろんな企業、社会全体で進めようとしているが、相変わらずの長時間労働で、トラック運輸、物流業界にはまるっきり関係の無い、厳しい労働環境です。

ここ東神トラックステーション！今は、駐車場だけで、宿泊、入浴、食事の施設が残念な事に閉鎖していました。建てかえるのでしょうか、案内が見当たりませんでした。皆さん、気をつけてください。

記事：今井 勇

【行動者より】



菊地：東神トラックステーションには、清掃活動に来た事がありますが、組織大行動としてのアンケート調査は初めての経験でした。声かける人かける人皆さんが快くアンケートに答えてくれました。しかし、1日を通じて、こんなに入れ替わりが少ないことに驚きました。熊本から来たドライバーさんや、大阪から来たドライバーさん等、遠方から来たドライバーさんが目立ちました。朝一番で声をかけさせてもらったトラックですが、調査が終わり帰る頃にもまだ停まっていました。他にも何台もそのようなトラックを見かけました！遠方からなので長時間休憩なのか、あるいは帰り荷が決まるまで動く事が出来ないのか…？いずれにせよ、ドライバーにとって拘束時間と賃金の問題は重要な問題だと感じます。今日はそんなトラックの入れ替わりが少ない中、空いた所に入ってきたドライバーさ

んに声をかける事を繰り返しました。予想気温が 29℃となっていたらしくさすがに暑い中の取り組みだったのでくたびりかけました。



山上：GW明けですがトラックの動きは余りありませんでした。数名のドライバーからのアンケートでは、時間外手当が給与（固定給）の含まれているとのことでした。また、拘束時間が長いこと、時間が不規則、手待ち時間が荷主次第などの声が多かったです。働き方改革についても、トラック業界だけでは困難ではとの声もありました。

感想として、実際にハンドルを握って運転しているドライバーには働き方改革を実行することは難しく、会社はもちろんのこと、荷主の理解が必要であると思います。ドライバー不足の問題もそうですが、社会全体の問題として連合あるいは社会へ訴えていかなければならないと思います。



鈴木：ドライバーの人達にアンケートの協力をお願いしました。中には断る方もいましたが、多数の方が快く協力してくれました。

アンケートに協力してもらいながらドライバーの方と世間話しや仕事内容、困っていることなどの話をしました。

「車検中や休まなければいけない。給料が下がるんだよね」と他の会社の状況を聞かれました。また、組合の無いところが多くあり、今後も組織拡大を継続することにより、組合のないドライバーの方の手助けになればと思いました。



佐藤：全国統一行動としてアンケートの聞き取り活動を行いました。残業代の支払やアルコールチェッカーの使用と点呼の実施状況を確認しました。アンケートを通して、残業代が正規に支払われていない状態、月間 100 時間以上の残業を課せられ、年収もムラが大きく安定した収入とは言えない状況でした。

ドライバーの長時間労働問題と安定した収入確保を訴えていく事が急務であると感じました。



森尻：先月も来たのですが相変わらず動きが少ないトラックステーションです。もう食事も風呂もないのであまり利用価値もなくなったような気がします。今回はアンケートを書いてもらうのでよけい敬遠されてしまい大変でした。やはり今度は高速道路のパーキングの方いいと思います。働き方改革と言っていますがトラック業界はまったく無関心な現状です。もっと自分たちの働きかたに関心を持ってほしいと感じました。